

エゴマ生産日本一達成記念講演会

奥出雲町のエゴマの作付面積が日本一となったのを記念して、記念講演会が12月12日に、カルチャープラザ仁多で開催されました。

麻布大学の守口徹教授による「食生活におけるオメガ3系脂肪酸の重要性」と題した講演と、東京の金田油店店長の青木絵麻さんによるえごま油を使ったレシピの紹介がありました。

えごま油には、認知症予防などに有効とされるオメガ3系脂肪酸のα-リノレン酸が豊富に含まれています。このオメガ3系と、サラダ油などの一般的な油に多く含まれるオメガ6系の脂肪酸をバランスよく摂ることが大切といった話を、来場者は熱心に聴いていました。



講演する守口教授

平成28年奥出雲町新年賀詞交換会

新年の幕開けを祝う「奥出雲町新年賀詞交換会」が1月4日、横田コミュニティセンターで開催されました。

交換会には、勝田町長をはじめ、議員、自治会長、町内企業や各種団体の代表者など、約170人が出席しました。

出席者は、互いに新年のあいさつを交わし、今年も皆で力を合わせ、町の発展に取り組むことを誓い合いました。



植田良二商工会長の乾杯

剣道越年稽古会

仁多郡剣道連盟が主催する毎年恒例の剣道越年稽古が、仁多中学校武道場で大晦日から元旦にかけて行われました。

稽古会は今年で24回目の開催となり、町内の小中学生や関係者約50人が参加しました。大晦日の午後11時から平成27年の稽古納めが始まり、基本動作、切り返しや地稽古など参加者は懸命に竹刀を振りました。

年越しの際には参加者全員で黙想し、新たな気持ちで新年を迎えました。



稽古始め式

仁多乃炎太鼓 大晦日年越演奏

仁多乃炎太鼓による大晦日年越演奏が、大晦日から元旦にかけて、三成の仁多土木事業所前において行われました。

午後11時から始まった演奏会は、かがり火が灯された幻想的な雰囲気の中、新曲「流星」などが演奏された他、子どもたちで構成される仁多乃飛炎太鼓も一生懸命に演奏しました。

新年は子どもたちのカウントダウンで迎え、最後はメンバー全員による「打てや囃さん」で、賑やかに新年を祝いました。



新年を祝い、賑やかに演奏

奥出雲町消防出初式が、1月9日に町民体育館で行われ、安部正教団長をはじめ、新入団員14人を含む約505人が出動し、盛大に行われました。

式典では、各種表彰のほか、昨年退団された15人の方に対し、長年のご功労に対して感謝状が贈られました。

安部団長からは、「住民の生命財産を守るという消防使命を誇りに思い、予防消防の徹底を図ってほしい」と訓示がありました。

式典終了後、役場仁多庁舎前の県道では、団員と消防車48台による分列行進が行われ、多くの町民の前で力強く行進しました。また、斐伊川護岸道路では、今年1年の無火災を祈って、一斉放水が行われました。

なお、今年の7月に出雲市斐伊川町で開催される、第60回高根県消防操法大会には、「ポンプ車の部」に布勢分団、「小型ポンプの部」に八川分団が、それぞれ出場することが決定しています。



▲役場仁多庁舎前を、力強く分列行進



▲町民体育館での出初式

防災への誓い新たに

奥出雲町消防出初式

新春百人一首大会

百人一首の会「山里会」と横田公民館の共催による新春百人一首大会が、1月7日に横田コミュニティセンターで行われ、横田小学校、三成児童館の百人一首クラブや公民館の伝統文化子ども教室に通う小中学生など約70人が参加しました。

開会式では、検定合格者の表彰や、代表児童による札の詠み上げがあり、会場からは大きな拍手が贈られました。

大会では、読み手が上の句を読み上げると、参加者は畳の上に並んだ札の中から読まれた札を探し、見つけると嬉しそうに取り合っていました。



集中して札を取り合う参加者

新春子ども書初め会

冬休み最後の日となる1月7日、横田コミュニティセンターで新春子ども書初め会（横田公民館主催）が開催され、町内の小中学生40人が参加しました。

町内で書道教室を開いている稲田一郎さんを講師に、書き方のアドバイスを受けたり手本を書いてもらったりと、参加した子どもたちは一筆一筆に気持ちを込めて書き上げていきました。

この日書いた作品は、学校に冬休みの課題として提出した他、1月末まで横田コミュニティセンターの展示室で展示されています。



真剣な顔つきで取り組む子どもたち